

ぼかしでたい肥を作ろう

密閉容器に生ごみを入れる。

水をしっかり切る。
ビニール、紙や煙草の吸い殻は入れない。

「ぼかし」を振りかける。

三角コーナー 1 杯(約1kg) で、コンパクト洗剤
のスプーン 1 杯(15g~20g) ぐらいを目安に。
夏場はぼかしを多めに振る。

蓋をしっかりと閉める。

ガスが発生して、蓋が膨れてきたら、真ん中
を押さえてガス抜きをする。
じゃり袋や鍋蓋などで「重し」をするとより
効果的です

毎日、バケツが一杯になるまで繰り返します。
蓋を開けた時に、酸っぱい匂いがしていれば、成功です。

一杯になったバケツは、しばらく放置します。
(発酵、熟成させる)
直射日光の当たらない所に 7 ~ 10 日間ぐらい
放置します。

生ごみの形は変わらず、量も極端に
少なくなりません。

出来上がった『ぼかしあえ』は、土に埋める。
家庭菜園、園芸用、庭木などに施します。
(白カビが生えなくても、埋めることはできます。)

ポイント

大きなごみは、小さめに切ったり、
卵の殻はつぶします。
バケツの底にぼかしをひと振りしてお
いても良い。

ポイント

生ごみ全体に振りかける。
なるべく平らになるように上から押さ
える。

ポイント

その日のごみは、その日のうちに処理
する。
バケツの底に水が溜まってきたら、水
抜きをする。

ポイント

生ごみにうっすら白カビが生えてきた
ら成功です。
(気温によって放置期間を調整します。)

ポイント

植栽は、7 ~ 10 日ぐらいしてから行
います。

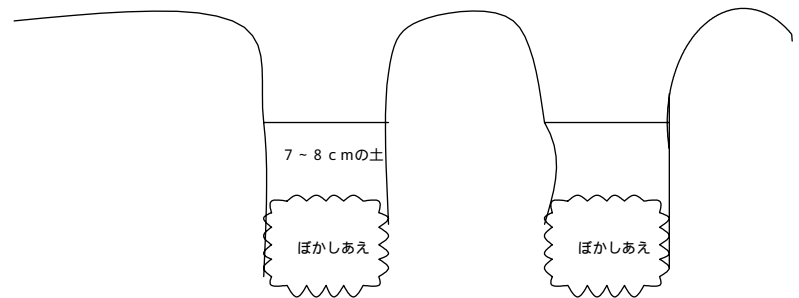
利 用 方 法

畑

ウネとウネの間にぼかしあえを入れる。

その上に、7～8 cm程度の土を盛る。

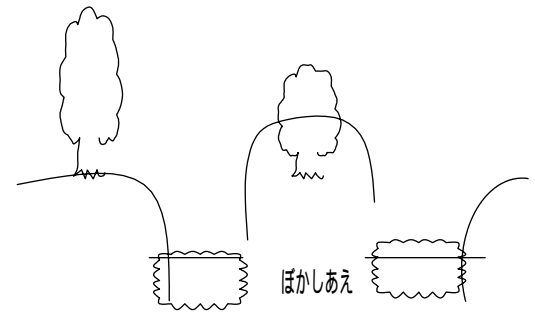
1週間ぐらいおいてから作物を植える。



庭

庭木の間にも所々30 cm程度の深さの穴を掘って埋める。

直接、根が植物にさわらないようにする。



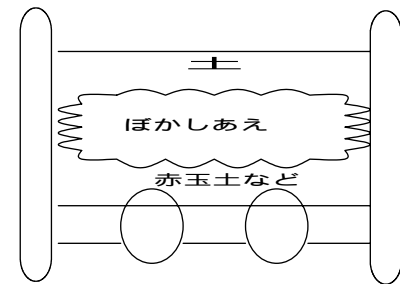
プランター

堆肥化してからプランターの土と合わせて使う。

または、土を3分の1程度入れ、ぼかしあえを3分の1程度入れる。

さらにその上から土を3分の1かぶせる。

1週間以上たってから、種や苗を植える。



コンポスター

ぼかしあえをした生ごみを一旦コンポストに入れて早く堆肥化させます。土や草を入れたりして空気を遮断したり、ビニールなどをかぶせて密閉状態にすると効果的です。

また、ぼかしを直接おおめにふり入れると、悪臭、害虫の発生を少なくすることができますが、密閉状態になるようにします。

ぼかしとは

ぼかしとは、生ごみを発酵させて堆肥にするための材料です。

このぼかしは、EM菌を薄めた液を、米ぬか、もみ殻、糖蜜などと混ぜ、発酵乾燥させたものです。

生ごみは、そのまま放置すれば腐り、悪臭を放ちます。しかし、ぼかしを使って生ごみを処理すると、悪臭を放つことはありません。

甘酸っぱくて、酸味のある臭いがするのです。これは、醸造発酵といって、腐らせて発酵するのではなく、ぼかしの中に入っているEM菌の力で発酵させるからなのです。

醸造発酵は、お酒、醤油、味噌などを作るとき、この発酵方法を使います。生ごみもこのぼかしを使って発酵させることによって、土にとって必要な微生物をたくさん含んだ良質な堆肥になるのです。

EM菌（有効微生物群）とは

EM菌とは、日本語にすると「有効微生物群」です。自然界に存在する微生物の中から、野菜づくりや花づくりに有効な乳酸菌、酵母菌、光合成細菌など10属80種類以上の微生物群を選び、混ぜた培養液のことをEM菌と呼んでいます。

EM菌は、土の中ではお互いに共存共栄し、連動し合い、相乗効果を発揮します。

また、土の中の生物とも相互作用し、土の質（土壌）が良い方向へとパワーアップするので、す。

この土から出来る作物は、病害虫などにも強く健康に育ちます。